

# 議会だより



就任のごあいさつ

## 〜更なる町の振興と発展のために〜

議長 上田 正子



人の注目度は容赦なく高まるものと覚悟をしております。それだけに議会の機能を最大限に発揮し、円滑な議会運営に誠心誠意努力しなければと気持ち新たにしているところでございます。

去る5月13日の臨時議会において議員各位のご推挙により、議長の要職に就くこととなりました。

思いもかけない事態の発生に感激と同時に責任の重さを痛感しております。近年、男女共同参画社会への進行が顕著になりつつあるとはいうものの、女性議長の経験者は県下町村議会において過去2名でありました。現在は本町のみであると認識しており、衆

人材不足が続いており、早急に対策を講じなければなりません。更に教育関係においては、隠岐島前高校の魅力化や公営塾学習センターの運営においても関係者の意識統一の中で円滑な取り組みがなされることが重要であります。

殊に国においては、安倍首相のもとで様々な施策が打ち出されていますが、自主財源の乏しい本町においては、引き続きの行財政改革と産業振興、定住対策等、執行部と議会がそれぞれの役割を發揮しながら車の両輪となって強力に推進することが肝要であります。議会の責任者として最大限努力いたす所存でございますので、住民の皆様方におかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが就任のごあいさつと致します。

## 5月臨時会

【人事】  
新議長決まる！

議長 上田正子さん  
副議長 寺下雅人さん



5月13日第496回海士町議会臨時会において、指名推選により正副議長を選出した。

その結果、新議長に上田正子氏、副議長には、寺下雅人氏が再任となった。

今後さらに町政運営が円滑になされる事を期待する。

なお、上程された議案は1件で、「村上家資料館の設置及び管理に関する条例の制定について」であり、執行部から提案理由の説明を受け、慎重審議の結果、原案の通り可決した。

## 隠岐広域連合議会報告

波多紀昭  
亀谷 潔

平成25年第2回定例会が5月24日に開催されたので、概要を報告する。

提出された議案は、報告案件1件、承認案件5件、補正予算案件5件、工事請負変更契約1件の計12件について審議され、すべての原案どおり全会一致で可決した。

■構成団体の隠岐の島町議員の任期満了に伴い、新たに6名の議員の変更があったため、議長、副議長の選挙、各常任委員会、特別委員会等の選任が行われ、議長に仲吉正氏（西ノ島町選出議員）、副議長に安部和子氏（隠岐の島町選出議員）が就任。本町からは亀谷潔議員が総務医療常任委員長に、波多紀昭議員が議会運営委員長にそれぞれ選出された。

■平成24年度各会計補正予算の専決処分は、事業実施等による決算見込みにより、予算の調整を行い、不用額を専決処分するもの。



■平成25年度各会計補正予算は、人事異動及び共済組合負担掛率の変更に伴い予算の増減を行うもの。

■工事請負変更契約は、仁万の里新築工事において、別途工事としていた洗濯機、畳、厨房機器の各工事を追加し、工事費を増額することから契約内容を変更するもの。

第38回全国町村議会議長・副議長研修会報告

議長 上田正子

5月28日から29日の2日間にわたり、東京（メルパルクホール）に於いて約1500人参加のもと開催された。開会にあたり、全国町村議会議長会・会長高橋正氏から、「昭和51年から始まった研修会も今年で38回目を迎えた。今回は、T P P問題、道州制、その他政治経済の諸問題について等、これからの町村議会のあり方について研鑽を積んでもらいたい」とあいさつがあった。

その後、基調講演では「町村議会に期待する」と題した東京大学大学院教授の金井利之氏からのお話や、第1日目は「これからの町村議会のあり方」についてをテーマとしたシンポジウムや、2日目の講演では、「歴史に見るリーダーの条件」と題し、歴史家・作家である加来耕三氏のお話や、「政治経済の展望」く報道から見たこれからの日本の姿」と題してTBSテレビ報道局解説・専門記者室長 杉尾秀哉氏等の講演があった。シンポジウムについては以下のとおり報告する。

テーマ

「これからの町村議会のあり方」

コーディネーター

ジャーナリスト 杉本克夫氏  
パネリスト

北海道鹿追町議会議長

埴淵 賢治氏

岩手県西和賀町議会議長

佐々木 正裕氏

茨城県大洗町議会議長

小野瀬 義之氏

兵庫県播磨町議会議長

宮尾 尚子氏

「議会基本条例の制定」、「第三者審議会の設置」、「住民との対話を目的とした会議の開催」、「迅速な議会だよりの発行」、「議会傍聴への呼びかけ」、「夜間議会・日曜議会の開催」、「議員自ら会場設営」などの事例をもとに話し合われた。

また、議員提案の条例制定をするにあたり、議員自らが地域で動き住民と接することで、議会への関心を高めてもらうことが重要だと話があった。この研修で特に印象的だったことは、兵庫県播磨町においては、町長、教育長、議長が女性であること、そして議会議員14名中6名が女性であることだった。やはり地域での女性の社会進出の現状とそれを支える住民パワーを感じた研修会であった。

諸般の報告

- 4月
  - 広報調査特別委員会
  - 春の交通安全テント村
  - 隠岐島前高校入学式
  - 福井小学校入学式
  - 海士中学校入学式
  - 海士小学校入学式
  - 隠岐広域連合議会臨時会
  - 隠岐神社春季例大祭
  - 第28回隠岐島綱引き大会
  - 例月現金出納検査
  - 保く高連携教育推進協議会懇親会
- 5月
  - はつぴーこーでいねーたーの会
  - 政調会
  - 第496回海士町議会臨時会
  - 監査委員自主研修会
  - 神津島村議会議員視察表敬訪問
  - 東京食肉市場関係者懇親会
  - 第36回関東海士後鳥羽会
  - 例月現金出納検査
  - 隠岐広域連合議会へ全員協議会
  - 島前森林組合通常総会
  - 隠岐広域連合議会定例会
  - 第38回町村議会議長全国研修会
  - 第1回島後海士後鳥羽会
  - 町村議会議長会臨時総会
  - 議会運営委員会
  - 隠岐島町村議会議長会総会
  - 全員協議会
  - 政調会

【編集後記】

■既報のとおり、先の臨時議会において、議長に上田正子議員が就任。副議長には寺下雅人議員が再任した。

更なる本町発展と町民福祉の推進に折り返し2年を互いに全うしたいものだ。

■安倍政権は参院選の日程を7月4日告示、21日投票とする方針を決定。東京都小平市で、都市計画道路の見直しのは非を問う住民投票が5月26日に実施されたが、その際の投票率が35・17%で不成立となったと報道された。

因みに同日、千葉県千葉市長選挙が行われたが、この時の投票率はわずかに31・35%。仮に小平市の例を適用すると千葉市長選挙はやり直さず。今一度、国民の投票する権利と共に、義務と己の持つ一票の重さを有権者は感じ取っていたきた。

■6月は梅雨の季節。今年の梅雨入りは1951年の観測以来4番目に早いという。県内の降雨量は50%以下という降水量が少ない状況が続いており、農作物の管理などに注意を呼びかけている。やがて、活発な炎暑の7月との狭間のこの季節、お湿りもなくては困るが、それらしい梅雨の季節感を大切にす風情、暮らしを満喫したいものだ。

(6月10日 文責・波多紀昭)

